

### 3. 調査概要

#### 1) 調査手法・対象

【調査手法】 インターネットによるウェブアンケート調査により実施。

【調査対象者】 20～50代 大阪市内在住の非正規労働者で子どものいない女性。  
※社会保障や行政施策の対象外であることの影響について把握するため、「既婚」については戸籍婚のみを対象とした。また、既婚・未婚ともに同居、別居を問わず子どもの「いない」人を調査対象とした。

【調査期間】 2018年9月21日(金)～9月28日(金)

【サンプル数】 400 サンプル 調査会社登録モニターより条件該当者を抽出

〈年代×未既婚内訳〉

	全体	未婚	既婚
20代	100	67	33
30代	100	50	50
40代	100	50	50
50代	100	52	48
全体	400	219	181

※スクリーニング調査で婚姻状況を聴取し、「戸籍婚」を【既婚】、「事実婚」「未婚」「離別」「死別」を【未婚】として扱った。

#### 2) 調査実施体制と会合実績

クレオ大阪中央研究室、有識者(協力研究員)を構成員とする検討会で、大阪市担当部局職員、外部有識者等の会合を通じて検討、調査・分析を行う。

【協力研究員】 森詩恵(大阪経済大学経済学部教授)

#### 【主な会合実績】

日程	議題	出席者
平成30年4月27日	研究の方向性の決定	大阪市ダイバーシティ推進室男女共同参画課 クレオ大阪中央研究室
平成30年7月13日	質問項目設計	クレオ大阪中央研究室、調査会社
平成30年7月20日	質問項目検討	クレオ大阪中央研究室、森詩恵協力研究員
平成30年12月14日	中間報告会	大阪市ダイバーシティ推進室男女共同参画課 大阪労働局 クレオ大阪研究室
平成31年1月18日	住まいに関する課題の検討	大阪市立住まい情報センター クレオ大阪研究室

### 3) 質問項目

質問項目については、先行調査である『非正規職シングル女性の社会的支援に向けたニーズ調査』(2016年)(以下「横浜・大阪・福岡調査」)および厚生労働省『平成26年就業形態の多様化に関する総合実態調査』(2014年)の個人調査設問項目を中心に、日本労働組合総連合会(略称:連合)の実施した『非正規職雇用で働く女性に関する調査』(2017年)や内閣府『子供・若者の意識に関する調査』(2016年)などを参考に設計した。

本調査の質問項目の特徴としては、以下の2点が挙げられる。(1)非正規雇用という就業形態の選択理由について、回答者自身に「本意」か「不本意」かを選択し、その理由について自由記述により回答する。(2)各種保険制度等の加入状況についての回答を得る。

主な調査項目は、以下のとおりである。調査票は資料編参照のこと。

① 回答者のプロフィール

年代、配偶者の有無、最終学歴

② 現在の暮らしについて

住居形態/同居家族/同居理由

生計の主な収入/個人年収/世帯年収

介護・看護の状況/自身の療養

③ 仕事について

現在の就業形態/職種/仕事のかげもち状況/週当たり労働時間

雇用期間の定めの有無/本意か不本意/初職/初職の勤続年数/

雇止め経験の有無/正社員転換の希望/職場の制度・施設利用状況

④ 社会保障・ネットワーク

社会保険・私的な備えの状況/保有しているもの/SNS利用状況/会話の相手/

ホッとできる場所(居場所)/緊急連絡先

⑤ 今後に向けて

今後の希望/不満を感じる点/他人の目や評価/不安

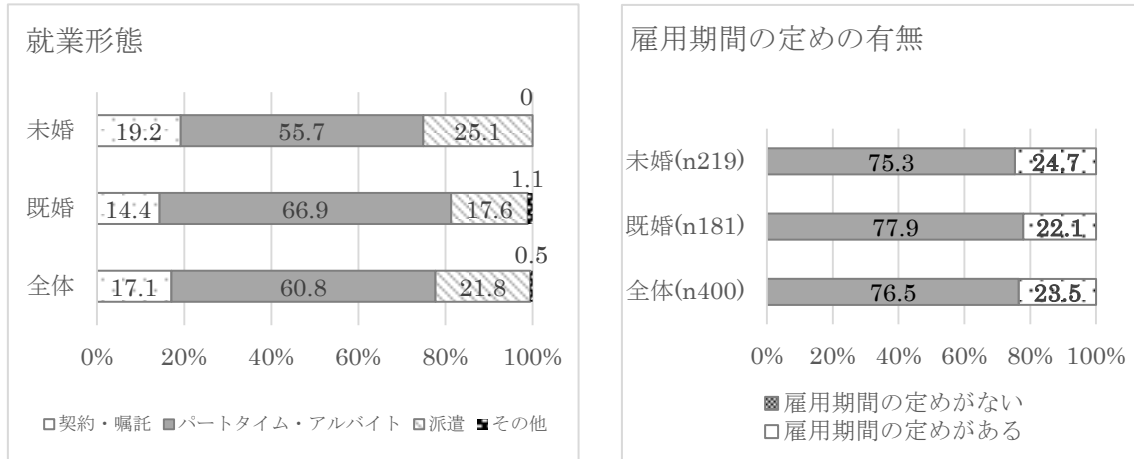
【各調査の設問の比較】

「多様化調査」(厚生労働省)	本調査	「横浜・大阪・福岡調査」
問1(3)最終学歴	問1 最終学歴	問3 最終学歴
問1(4)同居家族の有無 続柄	問2 同居家族の有無(続柄)	問7 同居家族の有無(続柄)
	問3 同居理由	
問1(5)家計の維持	問4 主な生計の維持	問10 主な家計収入
	問5 住居・家賃負担	問6 住居費負担の状況
問2(3)雇用期間の定めの有無と1回あたりの雇用期間	問6 雇用期間の定めの有無とその期間	
期間の定めない契約への変更希望	問7 期間を定めない契約への変更希望とその理由	
	問8 本意か不本意か/その理由(自由記述)	
問3 職種	問9 職種	問23 職種
	問10 仕事のかけもち	問24 仕事のかけもち
問4 現在の就業形態の選択理由(3つ)	問11 現在の就業形態の選択理由(3つ)	問27 非正規職についている理由(いくつでも)
	問12 (介護・看護との両立が理由の場合)介護・介護の状況	
	問13 (療養との両立が理由の場合)療養の理由	
問5 初職の就業形態	問14 初職の就業形態	問19 初職の就業形態
	問15 初職の勤続年数	
	問16 雇止め経験の有無	
	問17 今望んでいること、目ざしたいこと	問30 今望んでいること、目ざしたいこと(3つ)
問6(3)(正社員になりたい場合)正社員になりたい理由	問18 (正社員になりたい場合)正社員になりたい理由	
	問19 年収・世帯収入	問9 年収
問8 1週間の実労働時間数	問20 1週間の実労働時間数	問25 1週間の実労働時間数
	問21 職場の制度・施設利用等について	
問9 各種保険制度等適用状況	問22 各種保険制度等加入状況	
	問23 通信、交通、金融等の所有	問11 情報収集の主な手段
	問24 よく使うSNS	問11 インターネットでの情報収集
	問25 会話・メールの相手	問18 相談相手
	問26 居場所	
	問27 緊急連絡先	
問10 職場での満足度	問28 不満を感じること	問28 仕事に関する悩みや不安
	問29 他人の目や評価が気になること	
	問30 現在感じている悩みや不安(自由記述)	問16 現在感じている悩みや不安(選択肢)

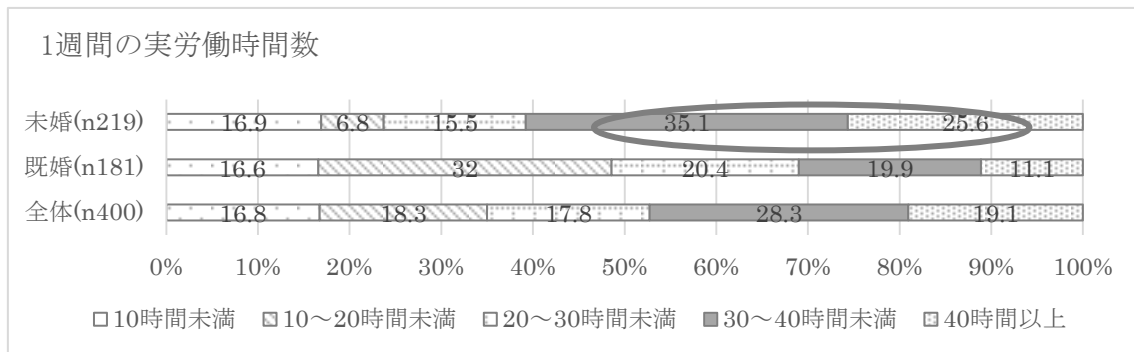
## 4. 結果の概要

### 1) 仕事の状況

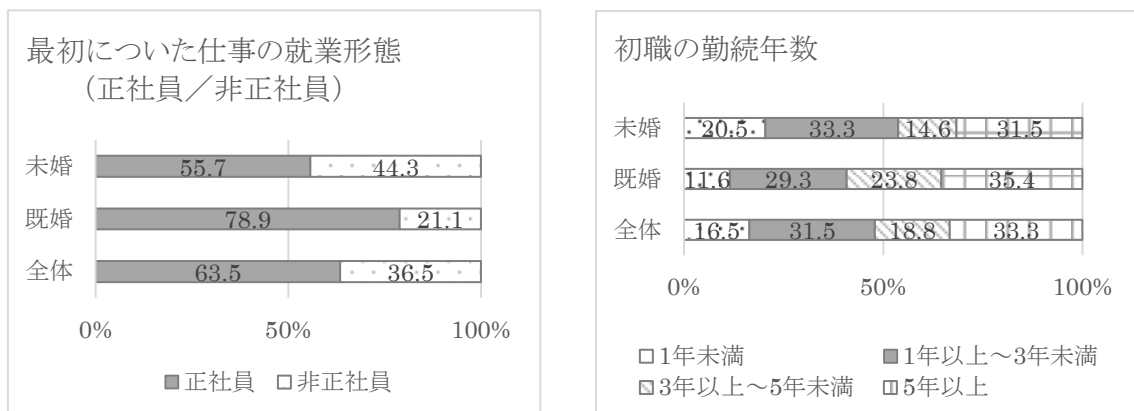
回答者の6割が「パートタイム・アルバイト」として働いており、雇用期間の定めについては、7割以上が「雇用期間の定めがない」と回答。



未婚の6割が週30時間以上働いている。一方、既婚では約半数が週20時間未満の勤務であり、就業調整していることが伺える。

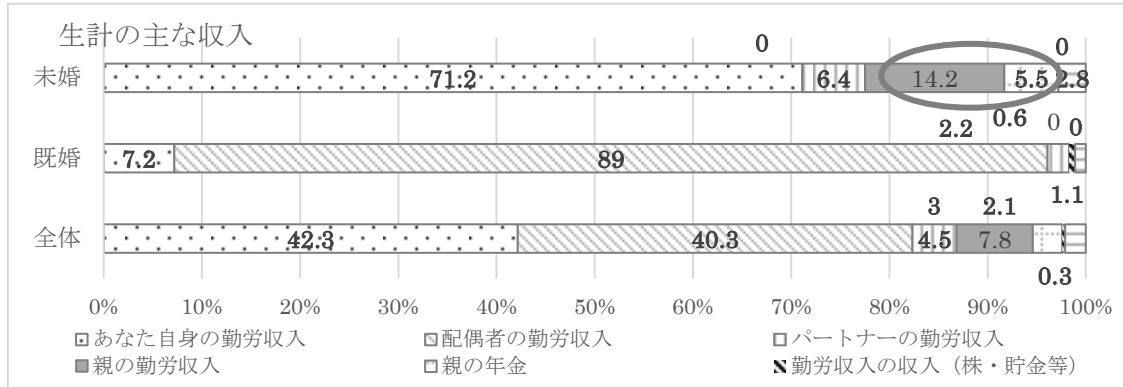


未婚の5割以上が初職から「非正社員」で、2割が1年未満で退職している。

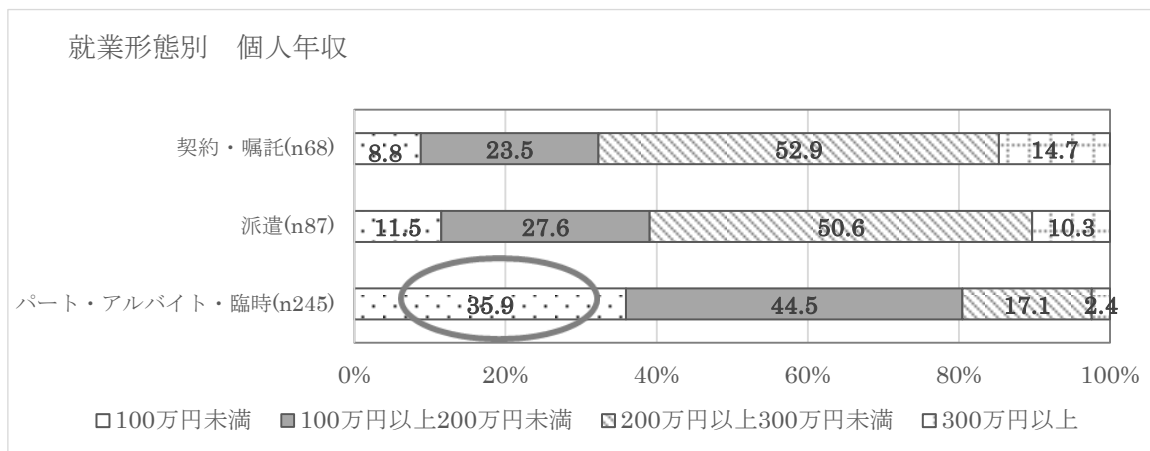
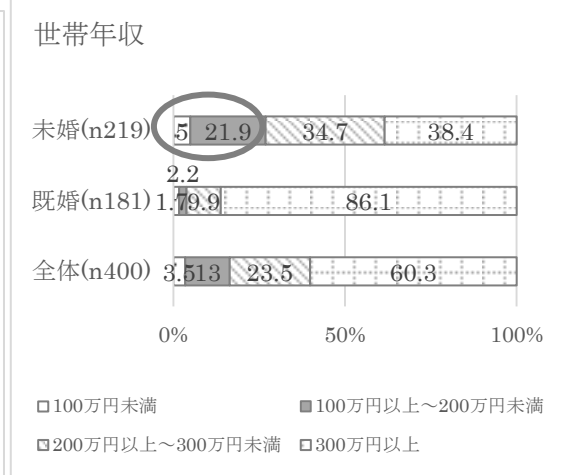
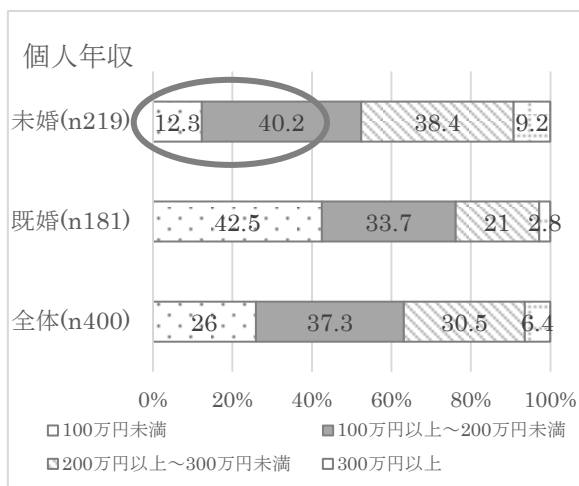


## 2) 生計の主な収入と年収（個人年収／世帯年収）

生計の主な収入は、未婚の7割は「本人の勤労収入」、約2割は「親の勤労収入または年金」と回答。既婚の約9割が「配偶者の勤労収入」と回答。

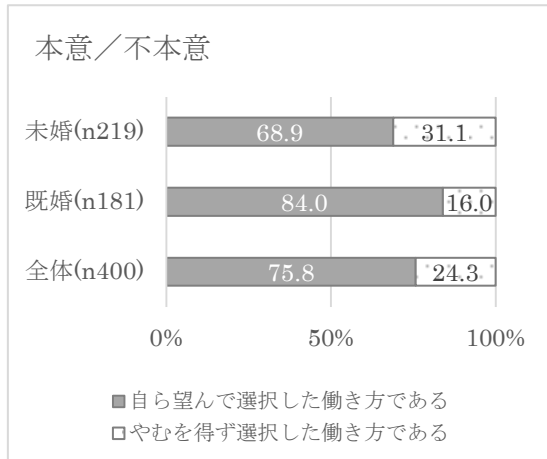


年収をみると、未婚の5割以上が「個人年収 200 万円未満」。世帯収入でも、26.9%が 200 万円未満である。就業形態別に個人の年収を見ると、パート・アルバイト・臨時職員の 35.9%が年収「100 万円未満」である。



### 3) 非正規雇用という働き方の捉え方と選択理由

未婚の3割が「不本意非正規」。現在の就業形態を選んだ理由は、未婚、既婚ともに「自分の都合のよい時間に働けるから」が最も多い。ただし自由記述をみると、「本意」の中にも「不本意非正規」と思われる回答が複数みられる。



	未婚	既婚
1位	自分の都合のよい時間に働けるから 41.6%	自分の都合のよい時間に働けるから 43.1%
2位	年齢的に正社員として働けなかったから 10.0%	家庭の都合(家事)と両立しやすいから 18.2%
3位	自分の体調管理・療養と両立しやすいから 6.8%	家計の補助、学費を得たいから 7.2%

#### 本意・不本意の理由 内容の分類とその件数 (問8)

未婚 (n219)		既婚 (n181)	
本意 151件	不本意 68件	本意 152件	不本意 29件
自由さ、責任の軽さ(41件)	正社員になれない(28件)	時間的融通(51件)	正社員になれない(6件)
時間的融通(29件)	体調・体力(7件)	自由さ、責任の軽さ(42件)	年齢(4件)
経験を積むため(10件)	非正規なら雇用がある(7件)	扶養の範囲内(21件)	時間的融通(4件)
体調・体力(7件)	年齢(4件)	妊娠・妊活(8件)	結婚しているから(3件)
前職に問題あり(8件)	正社員雇用があるから(3件)	体調・体力(5件)	介護(2件)
非正規なら雇用がある(7件)	時間的融通(3件)	介護(3件)	経験を積むため(2件)
やりたい仕事だから(5件)	介護(1件)	非正規なら雇用がある(3件)	体調・体力(1件)
自信がない(4件)	自信がない(1件)	自信がない(2件)	その他(6件)
介護(4件)		経験を積むため(2件)	特にない(1件)
正社員雇用があるから(2件)			
その他(20件)	その他(14件)	その他(8件)	
特にない(14件)		特にない(7件)	

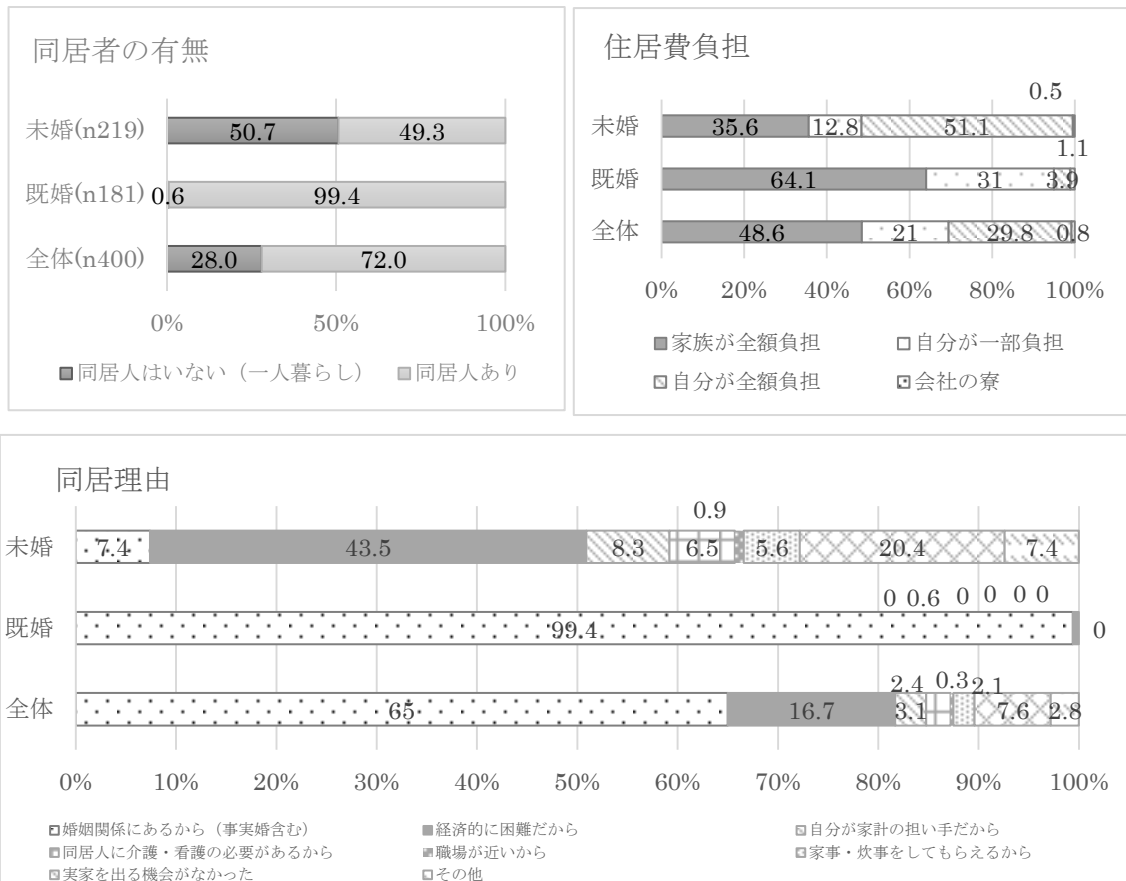
[自由記述 (抜粋)] (誤字脱字等を含め、一部修正)

- ・「すぐ見ただけ聞いただけで会社を選ばず、実際に働いて会社のことを知りたかったから」(本意／未婚 20代パートタイム労働者)
- ・「家庭との両立をするにはこの方法がベストだから」(本意／既婚 30代パートタイム労働者)
- ・「扶養範囲内で働くため」(本意／既婚 30代パートタイム労働者)
- ・「正社員で働ける自信がない」(本意／既婚 30代派遣労働者)
- ・「辞めるのも自由で働き方も自由だから」(本意／未婚 30代パートタイム労働者)

- ・「介護支援が必要な家族がいるから」(本意/未婚 40代パートタイム労働者)
- ・「会社に縛られるのが嫌だから」(本意/未婚 50代パートタイム労働者)
- ・「体調を崩し、正社員での就職が難しいので。」(不本意/未婚 20代パートタイム労働者)
- ・「職歴も浅く、経験がないため一時しのぎで働いている」(不本意/未婚 20代派遣労働者)
- ・「正社員の求人が無かった」(不本意/未婚 30代派遣労働者)
- ・「正社員で就労できるスキルがない」(不本意/未婚 40代パートタイム労働者)
- ・「夫の指示」(不本意/既婚 40代パートタイム労働者)
- ・「年齢的に採用してもらえない」(不本意/既婚 40代嘱託社員)
- ・「やめたらこれより上の水準には到達できない」(不本意/未婚 40代契約社員)
- ・「家族の介護問題」(不本意/既婚 50代パートタイム労働者)
- ・「正社員ではなかなか仕事に就けないから」(不本意/未婚 50代派遣労働者)

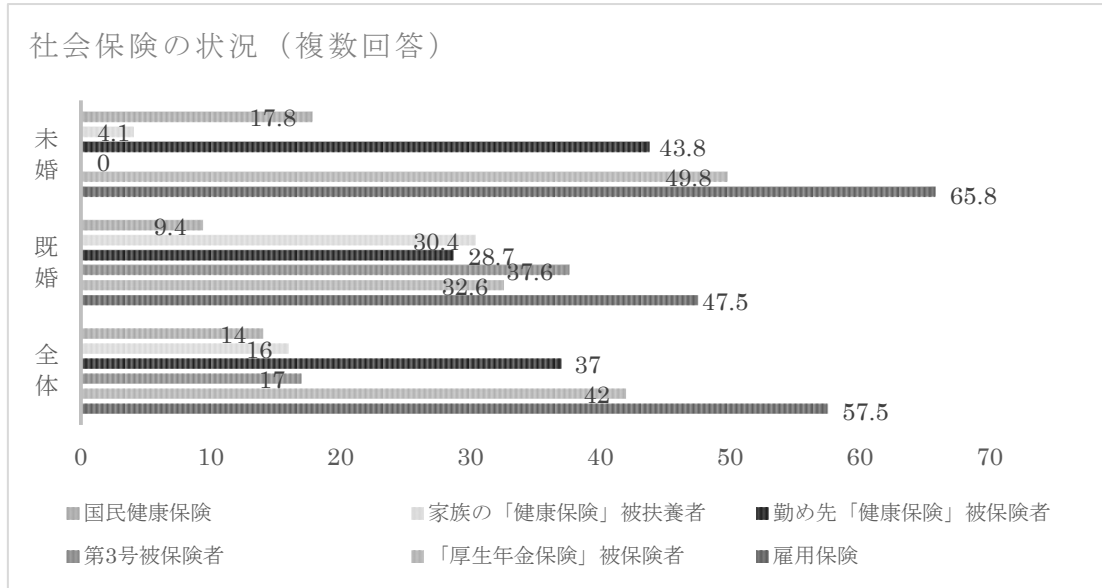
#### 4) 住まいの状況

未婚の半数に同居者があり、同居理由について4割が「自分自身が一人暮らしするには経済的に困難だから」と回答。また未婚の3割強は、住居にかかる費用を「家族が全額負担」している。



### 5) 社会保障等の加入状況

雇用保険の加入状況は、未婚で 65.8%、既婚で 47.5%とそれぞれほぼ半数が加入している。年金の加入状況は、未婚の 49.8%が厚生年金に本人が被保険者として加入。既婚の 37.6%が配偶者の加入している「厚生年金保険」の被扶養配偶者であった（「国民年金第 3 号被保険者」）。



### 6) 不満と要望

婚姻状況に関わらず、すべての年代で、「賃金」と「仕事のやりがい」に不満を感じている。続いて、未婚では「雇用の安定性」への不満が、既婚では「評価と処遇」に対する不満がある。今望んでいることとしては、「収入の増加」と「雇用の継続」の二つ。そのほか、未婚では「結婚したい」、既婚では「子どもが欲しい」という回答がみられる。

「不満を感じる事（複数回答）」（問 28）

	全体	未婚	既婚
1 位	賃金 51.8%	賃金 59.8%	賃金 42.0%
2 位	やりがい 33.5%	やりがい 34.7%	やりがい 32.0%
3 位	雇用の安定性 25.5%	雇用の安定性 29.7%	評価・処遇 20.4%

「今望んでいることや目ざしたいこと」（1 位結果）（問 17）

	全体	未婚	既婚
1 位	収入を増やしたい 29.8%	収入を増やしたい 33.8%	今の職場で働きたい 28.7%
2 位	今の職場で働きたい 25.5%	今の職場で働きたい 22.8%	収入を増やしたい 24.9%
3 位	ゆっくりペースで働きたい 10.0%	正社員になりたい 9.1%	ゆっくりペースで働きたい 13.8%
4 位	転職したい 6.8%	転職したい 8.2%	子どもが欲しい 12.7%
5 位	子どもが欲しい 6.0%	結婚したい 7.3%	転職したい 5.0%



## 7) 現在感じている悩みや不安

現在感じている悩みや不安の多くは、仕事、収入、そして老後に関する記述であった。

「現在感じている悩みや不安」(問 30)

	未婚 (n219)	既婚 (n181)
仕事に関すること	42 件(19.2%)	22 件(12.2%)
収入に関すること	39 件(17.8%)	33 件(18.2%)
老後のこと	35 件(16.0%)	24 件(13.3%)
結婚に関すること、独身であること	22 件(10.0%)	0 件
健康に関すること	20 件(9.1%)	12 件(6.6%)
親・家族との関係(介護含む)	6 件(2.7%)	13 件(7.2%)
人間関係(職場・友人)	3 件(1.4%)	9 件(5.0%)
子どもがいないこと	0 件	18 件(9.9%)
ワークライフバランスに関すること	0 件	4 件(2.2%)
ローン・負債	2 件(0.9%)	3 件(1.7%)
書きたくない、仕方がない等	6 件(2.7%)	0 件
特にない	34 件(15.5%)	36 件(19.9%)
その他	10 件(4.6%)	7 件(3.9%)

〔自由記述(抜粋)〕(誤字脱字等を含め、一部修正)

- ・「正社員になりたいけど職歴も就活もしたことがなくてどうしたらいいかわからずズルズル目先のお金欲しさにバイトを詰めてしまう」(未婚 20 代パートタイム労働者)
- ・「いつまで安心して働けるか」(未婚 30 代派遣労働者)
- ・「5 年の雇用期間の間に自身の希望に沿った次の就職先が見つかるか、またそこへ就業できるかが不安です」(未婚 40 代契約社員)
- ・「正社員になりたいがなれないので、将来に不安がある」(未婚 40 代派遣労働者)
- ・「10 年以上今の職場だが時給が 1 円も上がらない」(未婚 40 代契約社員)
- ・「いつまで派遣で仕事(オフィスワーク)が出来るか。派遣で仕事が出来なくなったら、他に仕事があるか不安。年齢で断られることも多く、あっても低賃金で、一人暮らしだとやって生活していけないから」(未婚 50 代派遣労働者)
- ・「転勤が多く、その都度仕事や働き方を考えないといけないので、大変。引っ越しが多いので、なかなか安定して生活ができない。」(既婚 20 代派遣労働者)
- ・「妊活中、お金はかかるけど、婦人科に行くのに正社員ではいけない」(既婚 30 代パートタイム労働者)
- ・「今の職場環境が好きなのでこのまま働きたいが、自分から社会保険に加入して働くには収入が少ない。扶養内で働くこととの年収の逆転現象を解消してほしい。働きたいだけ働ける環境がほしい」(既婚 40 代パートタイム労働者)
- ・「先々のもらえる年金で生活していけるのか? という事」(既婚 50 代契約社員)